

令和8年度静岡社会健康医学大学院大学植栽等管理業務委託契約書

公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学（以下「甲」という。）と []（以下「乙」という。）との間に、次のとおり委託契約を締結する。

（目的）

第1条 甲は、甲が別に定める「静岡社会健康医学大学院大学植栽等管理業務委託要領（以下「要領」という。）」に定める業務（以下「委託業務」という。）の処理を乙に委託し、乙はこれを受託する。

（委託期間）

第2条 この委託期間は、令和8年6月2日から令和9年3月19日までとする。

（委託費）

第3条 甲は、乙に対し委託業務を処理するための費用（以下「委託費」という。）として、金 [] 円（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 [] 円）を支払うものとする。

2 前項の消費税額は、消費税法（昭和63年法律第108号）第28条第1項及び第29条並びに地方税法（昭和25年法律第226号）第72条の82及び第72条の83の規定により算出したもので、委託費に110分の10を乗じて得た額とする。

（支払方法）

第4条 乙は、第9条第1項の承認を受けた後に、委託費の支払を甲に請求するものとし、甲は、請求書を受理した日の翌月末までに支払うものとする。

（契約の変更）

第5条 甲又は乙は、天災その他その責めに帰さない理由により、この契約を変更しようとするときは、その理由を記載した書面により、その相手方に申し出なければならない。

（権利義務の譲渡等の禁止）

第6条 乙は、第三者に対し、委託業務の全部若しくは一部の実施を委託し、若しくは請け負わせ、又はこの契約に基づいて生じる権利義務を譲渡してはならない。ただし、書面により甲の承認を受けた場合は、この限りではない。

（契約の解除）

第7条 甲又は乙は、天災その他その責めに帰さない理由により、この契約を解除しようとするときは、その理由を記載した書面により、その相手方に申し出なければならない。

2 甲は、次のいずれかに該当するときは、この契約を解除することができる。

- （1）乙が委託期間内に委託業務を履行しないとき又は履行の見込みがないと甲が認めるとき。
- （2）甲がこの契約について不正の事実を発見したとき。
- （3）乙が故意又は重大な過失により甲に損害を与えたとき。
- （4）乙が法令等又は契約に違反したとき。

(5) 乙が次のアからキのいずれかに該当したとき。

ア 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に該当する団体（以下「暴力団」という。）

イ 個人又は法人の代表者が暴力団員等（法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者をいう。以下同じ。）である者

ウ 法人の役員等（法人の役員又はその支店若しくは営業所を代表する者で役員以外の者をいう。）が暴力団員等である者

エ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって暴力団又は暴力団員等の利用をしている者

オ 暴力団若しくは暴力団員等に対して、資金等提供若しくは便宜供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し又は関与している者

カ 暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者

キ 相手方が暴力団又は暴力団員等であることを知りながら、下請契約、資材又は原材料の購入契約その他の契約を締結している者

(6) 契約の履行の全部が不能であるとき又は全部の履行を拒絶する意思を明確に表示したとき。

(7) 契約の履行の一部が不能であるとき又は一部の履行を拒絶する意思を明確に表示した場合において、残存する部分のみでは契約した目的を達することができないとき。

(8) この契約の締結後、事情の変化により、委託業務を処理させる必要がなくなったとき。

3 甲又は乙は、正当な理由により2月の予告期間を持って、この契約の解除をその相手方に申し出たときは、この契約を解除することができる。

（損害賠償責任）

第8条 乙は、次のいずれかに該当したときには、直ちにその損害を被害者に賠償しなければならない。

(1) 乙が委託事務の実施に関し、甲又は第三者に損害を与えたとき。

(2) 前条第2項又は第3項の規定によりこの契約が解除された場合において、乙が甲に損害を与えたとき。

2 乙は、前条第2項又は第3項の規定による契約の解除により損害をうけた場合において、甲に対し、その損害の賠償を請求することができない。

（処理状況の報告等）

第9条 乙は、委託業務の終了後、要領に定めるところにより甲に報告し、承認を受けなければならない。

2 甲は、必要があると認めるときは、委託業務の処理状況を乙に報告させ、又は自らその調査をすることができる。

3 甲は、乙の実施した委託業務が要領に適合しないものであるときは、乙に対してその作業の手直しを命ずることができる。この場合において、手直しに要する費用は、乙の負担とする。

（法令上の責任）

第10条 乙は、委託業務の処理に当たり乙の従業員に対する雇用者及び使用者として、労働関係法令による全ての責任を負うものとする。

(服務規律の保持)

第 11 条 乙は、委託業務に従事する乙の従業員の教育指導に万全を期し、風紀、衛生及び作業規律の維持に責任を負うものとする。

(秘密の保持)

第 12 条 乙は、委託業務を処理する上で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならない。

(臨機の措置)

第 13 条 乙は、委託業務の実施上特に必要と認めるときは、臨機の措置を執らなければならない。

2 乙は、前項の措置を執ったときは、直ちに甲に報告しなければならない。

3 甲は、特に必要と認めるときは、乙に対して所要の指示をすることができる。この場合において、乙は、直ちに応じなければならない。

(委託費の処理)

第 14 条 甲又は乙が第 7 条の規定によりこの契約を解除した場合の委託費の処理は、甲が認める既履行部分に相当する金額をもって精算する。

(合意管轄)

第 15 条 この契約に関する訴訟については、静岡地方裁判所を管轄裁判所とすることに合意する。

(定めのない事項の処理)

第 16 条 この契約に定めるもののほか、必要な事項については、甲乙協議の上、決定するものとする。

上記の契約の成立を証するため、この契約書 2 通を作成し、甲乙記名押印の上、各自その 1 通を所持する。

令和 年 月 日

甲 静岡市葵区北安東 4 丁目 27 番 2 号
公立大学法人静岡社会健康医学大学院大学
理事長 宮地 良樹

乙 



白
紙

静岡社会健康医学大学院大学植栽等管理業務委託要領

1 目的

静岡社会健康医学大学院大学の敷地のうち、指定する植栽等の剪定・除草作業を行い、学内及びその周辺の通行の安全を図るとともに、来訪者が立ち入りやすい環境を整備する。

2 業務内容

(1) 業務範囲 別添 図面・面積一覧・樹木一覧のとおり

(2) 業務内容

区 分	内 容	数 量	回 数
除草作業	人力抜根除草	186 m ²	3 回
	人力草刈	80 m ²	3 回
	機械草刈	2, 582 m ²	3 回
剪定作業	低木管理	366 m ²	2 回
	中低木管理	183 m ²	1 回
	高木管理（幹周 60cm 未満）	96 本	1 回
	高木管理（幹周 60cm 以上 90cm 未満）	36 本	1 回
	高木管理（幹周 90cm 以上）	12 本	1 回
枯木 撤去作業	高木枯木伐採(幹周 60cm 以上 90cm 未満)	1 本	—

3 業務方法

(1) 除草作業

ア 人力抜根除草

- (ア) 除草フォークなどを用いて根ごと取り除く。
- (イ) 既存植物を傷めないように注意する。
- (ウ) 抜根除草跡はきれいに整地、清掃する。
- (エ) 実生苗、ヒコバエ、及び樹木や施設などにかからんでいるつる性雑草も、取り残しのないよう除去する。

イ 人力草刈

- (ア) 刈込器具は鎌などを用いる。
- (イ) 刈りむらのないよう均一に刈り込む。
- (ウ) 刈り残しがないように注意する。
- (エ) 樹木や施設などにかからんでいるつる性雑草も除去する。
- (オ) 樹木、株物、柵などを損傷しないように注意する。
- (カ) 作業後は、作業地及び周辺を清掃すること。

ウ 機械草刈【肩掛式・ハンドガイド式】

- (ア) 作業前に小石などを除去し、周囲に飛散しないようにする。
- (イ) 刈りむらのないよう均一に刈り込む。
- (ウ) 機械刈りのできない場所については、手刈りとし、刈り残しのないように仕上げる。
- (エ) 刈り跡はきれいに整地清掃する。

- (オ) 樹木、株物、柵などを損傷しないように注意する。
- (カ) 樹木や施設などにかからんでいるつる性雑草も除去する。
- (キ) カッターによる小石などの跳ね飛ばしや刈草の吹き出し方向に注意する。

(2) 剪定作業

ア 低木管理【刈り込み】

- (ア) 整形全体に凹凸のないよう一定に刈り込み、鋭利な切断面が生じないように、適切な措置をとること。
- (イ) 植樹帯の刈り込みは植樹柵ブロック等の内側で刈り込み、仕上がり高さは60cmを標準とする。
- (ウ) 歩道植樹帯の低木は、車道部への枝葉のはみ出しを防止するよう留意し、原則として枝葉を縁石の内側に収めるよう仕上げること。
- (エ) 玉物等、特殊な仕上がり形状の刈り込みに当たっては、施工方法、仕上がり形状等を委託者に確認すること。

イ 中低木管理【剪定】

- (ア) 樹木の特性によって、樹高や枝幅に注意し、切詰め、中すかし、枯枝・枯株の除去等を行うこと。
- (イ) 歩行者、自動車等の車両の通行障害とならないよう、枝葉のはみ出しを防止するよう留意し、原則として枝葉を縁石の内側に収めるよう仕上げること。
- (ウ) 枯れ木や枯れ枝が発生した場合は、撤去や枝払いを行う等、適切な措置をとること。

ウ 高木管理

- (ア) 樹木の枝葉が、敷地境界から原則として1.0m以上、高圧線から1.5m以上離れるように剪定すること。
- (イ) 木の下枝高は、道路構造令に基づく高さを確保するものとする。ただし、樹高の低い樹木については、委託者と協議のうえ剪定すること。

(3) 枯木撤去作業

ア 伐採作業

- (ア) 上記2(2) 枯木撤去作業の対象である枯損木について、伐採及び撤去すること。

4 発生材等の処分

剪定作業等で発生した枝葉、残材、ゴミ等は、通行の支障とならないよう留意し、作業完了後は受託者の責任において速やかに処分すること。

5 現場管理

受託者は、常に作業の安全に注意して現場管理を行い、事故防止に努めなければならない。作業実施中に事故等が発生した場合は、応急措置を講じ、遅延なくその状況を委託者に報告するとともに、受託者の責任において処理するものとする。

6 業務報告

受託者は業務終了後30日以内又は令和9年3月19日のいずれか早い日までに、作業内容及び確認された問題箇所等を明瞭にした書類及び作業の概要がわかる写真等を添付した完了報告書を委託者に提出すること。

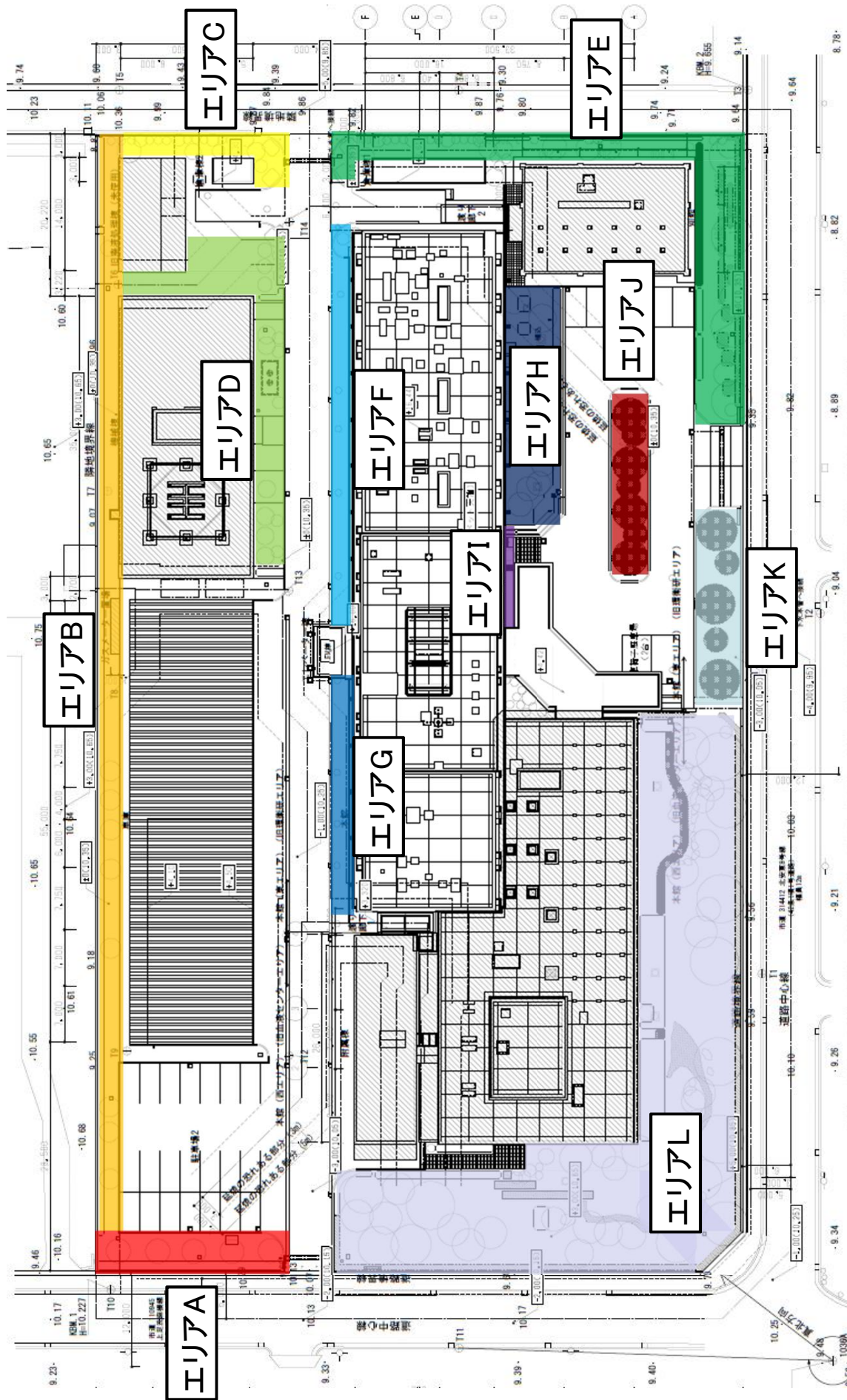
7 留意事項

- (1) 作業は、原則として8時30分から17時00分までの間で実施すること。
- (2) 受託者は、現場の状況により、作業位置、方法に関してやむを得ず軽微な変更を行おうとする場合においては、当該変更事項について、委託者と協議の上、実施するものとする。
- (3) 受託者は、作業実施にあたって近隣住民からの苦情又は意見があったときは、丁寧に対応し、遅延なく委託者に報告しなければならない。
- (4) 委託者による履行確認の結果、履行が不十分と認められる場合には、速やかに適切な対応をすること。

8 その他

この要領に示されていない細部の事項及び業務遂行中に生じた疑義については、現場の状況に応じて委託者と受託者が協議して決定する。

白
紙



白
紙

面積一覧

エリア	方 法	面 積	備 考
A	機械草刈	81 m ²	
B	機械草刈	382 m ²	
C	機械草刈	60 m ²	
D	機械草刈	115 m ²	
E	機械草刈	282 m ²	
F	人力草刈	42 m ²	
G	人力草刈	26 m ²	
H	機械草刈	195 m ²	
I	人力草刈	12 m ²	
J	人力抜根除草	55 m ²	
K	人力抜根除草	131 m ²	
L	機械草刈	1,467 m ²	

* 集計

人力抜根除草	186 m ²
人力草刈	80 m ²
機械草刈	2,582 m ²
計	2,848 m ²

中低木管理

エリア	方 法	面 積	備 考
J	低木性～高木性混植	53 m ²	
K	低木性～高木性混植	130 m ²	
計		183 m ²	

低木管理

エリア	樹 種	面 積	備 考
A	ヒラドツツジ	32 m ²	
C	ユキヤナギ・アベリア	33 m ²	
	ヒラドツツジ	6 m ²	
	ユキヤナギ	2 m ²	
D	レンギョウ	3 m ²	
	タマイブキ	3 m ²	
	タマイブキ	1 m ²	
	ユキヤナギ	8 m ²	
	タマイブキ	1 m ²	
	タマイブキ	1 m ²	
	タマイブキ	1 m ²	
	ユキヤナギ	8 m ²	
E	ヒラドツツジ	1 m ²	
	ユキヤナギ	1 m ²	
	ヒラドツツジ	5 m ²	
	ユキヤナギ・アベリア	96 m ²	
	ヒラドツツジ	2 m ²	
	ヒラドツツジ	2 m ²	
H	ヒラドツツジ	52 m ²	
	カンツバキ	3 m ²	
	カンツバキ	1 m ²	
	カンツバキ	6 m ²	
	ヒラドツツジ	3 m ²	
	ドウダンツツジ	6 m ²	
L	カンツバキ	6 m ²	
	カンツバキ	28 m ²	
	カンツバキ	9 m ²	
	カンツバキ	2 m ²	
	カンツバキ	8 m ²	
	サツキツツジ	3 m ²	
	ドウダンツツジ	16 m ²	
	ドウダンツツジ	16 m ²	
計		366 m ²	

白
紙

樹木一覽

[illegible]

エリア	樹種	幹周	針・常・落
B	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
	サンゴジュ	55 cm	常
C	ヒマラヤスギ	61 cm	針
	サンゴジュ	67 cm	常
	カイツカイブキ	37 cm	針
	ヤマモモ	42 cm	常
	カイツカイブキ	33 cm	針
	トチノキ	49 cm	落
	カイツカイブキ	36 cm	針
	カイツカイブキ	31 cm	針
	クヌギ	41 cm	落
	サンゴジュ	35 cm	常
	サンゴジュ	30 cm	常
	サンゴジュ	41 cm	常
D	ヒマラヤスギ	82 cm	針
	ヒマラヤスギ	85 cm	針
	ヒマラヤスギ	88 cm	針
	サンゴジュ	85 cm	常
	サンゴジュ	85 cm	常
	サンゴジュ	85 cm	常
	サンゴジュ	85 cm	常
	サンゴジュ	85 cm	常

樹木一覧

エリア	樹 種	幹 周	針・常・落
E	キンモクセイ	72 cm	常
	キンモクセイ	75 cm	常
	キンモクセイ	65 cm	常
	サクラ	48 cm	落
	ケヤキ	53 cm	落
	サンゴジュ	62 cm	常
	サンゴジュ	78 cm	常
	サンゴジュ	65 cm	常
	サンゴジュ	90 cm	常
	カイヅカイブキ	30 cm	針
	カイヅカイブキ	31 cm	針
	カイヅカイブキ	38 cm	針
	カイヅカイブキ	39 cm	針
	サンゴジュ	58 cm	常
	ヒマラヤスギ	61 cm	針
	エノキ	57 cm	落
F	サザンカ	28 cm	常
	サザンカ	29 cm	常
H	キンモクセイ	105 cm	常
	モッコク	36 cm	常
	サザンカ	30 cm	常
	サザンカ	30 cm	常
	サザンカ	45 cm	常
	マキ	48 cm	針
	キンモクセイ	80 cm	常
	カキ	39 cm	落
	サザンカ	25 cm	常
	カキ	63 cm	落
	ヤマモモ	105 cm	常
L	シイノキ	112 cm	常
	マテバシイ	196 cm	常
	ヒマラヤスギ	66 cm	針
	ウバメガシ	44 cm	常
	アラカシ	155 cm	常
	クスノキ	67 cm	常
	クスノキ	82 cm	常
	アラカシ	165 cm	常
	マテバシイ	106 cm	常
	マキ	62 cm	針
	キンモクセイ	39 cm	常

エリア	樹 種	幹 周	針・常・落
L	マテバシイ	132 cm	常
	キンモクセイ	35 cm	常
	ツバキ	35 cm	常
	ヤマモモ	81 cm	常
	ウバメガシ	82 cm	常
	マテバシイ	245 cm	常
	クスノキ	121 cm	常
	マキ	82 cm	針
	ヤマモモ	84 cm	常
	ヤマボウシ	50 cm	落
	ウメ	84 cm	落
	モチノキ	60 cm	常
	ハマヒサカキ	25 cm	常
	マキ	69 cm	針
	アセビ	20 cm	常
	ヤマモモ	254 cm	常

*集計

幹 周	針葉樹	常緑樹	落葉樹
60cm未満	9本	80本	7本
60cm以上90cm未満	14本	20本	2本
90cm以上	0本	12本	0本
計	23本	112本	9本
	144本		

*枯木撤去作業対象樹木

エリア	樹 種	幹 周	針・常・落
H	モミジ	80 cm	落